

教材選択ツール<PDF 版> 実施手順 * 全学年共通

準備する物

児童：
 問題冊子
 鉛筆・消しゴム

テスター：
 手引き
 筆記用具
 ストップウォッチ【読み】p.10 で使用

実施

<事前に準備しておくこと>

1. 問題冊子と手引きに、児童の番号を記入しておく。
2. テスターは、児童と向かい合って座る。

<手順>

- ② 児童に鉛筆、消しゴムを用意させておく。問題冊子を渡す。
- ② 準備ができたなら問題に取り組ませる。手引きの対応するページを開き「**問題**」と書かれている**問題文**と、 内の**緑色の文字**（「」）の部分を、**すべてテスターが読み上げる**。問題文、設問は何度繰り返してもよい。
- ③ テスターが実施に関わる必要がある（口頭で出題する・説明する）問題には、問題文の上に「マーク」が書かれている。手引きに従って問題を実施する。
- ④ 実施中、児童が、一度言った回答を修正した場合、一度書いた回答を消して書き直した場合、回答するまでに時間がかかった場合には、[採点] 欄の上にあるそれぞれの項目に○をつける。児童の様子で気づいたことがあれば、下の[行動観察] 欄に記入する。

<例> ・よく考えずに回答していた ・児童からの質問内容
 ・回答を出すまでの様子（指を使って考えていた、声に出して考えていた） など
- ⑤ 児童が回答し終わったら、手引きの解答を確認し、[採点] 欄に ○(正答) か ×(誤答) を記入する。
- ⑥ 問題終了後、児童の問題冊子を回収し、次に行う問題冊子、手引きを準備する。

実施上の注意

1. 児童から問題のやり方について質問があった場合や、児童が問題を理解できていない場合
 → ・やり方を分かりやすくその場で説明する。回答を教えなければ、説明の仕方に決まりはない。説明を理解し、児童が自力で回答した場合、通常通り採点する。
 ・わかりやすく伝えても、児童がやり方を理解できなかった場合には、その問題をやらずに、次の問題へ進む。この場合の回答は採点の対象としない。採点欄も空欄のままにしておく。
2. 児童が、設問や選択肢を一人で読むことができなかった場合
 → ・手引きに読み上げ禁止の注意事項がある問題では、設問や選択肢をテスターが読み上げてはいけない。読み上げた場合の回答は誤答とする。
3. 児童に、正答を聞かれたり、合っているかどうか聞かれたりした場合
 → ・「思った通りでいいよ。」と返答し、正答は教えない。